

第2回 県政150周年記念事業実施本部会議 議事録

1 開催日時

令和7年10月9日（木） 11:00～11:05

2 議事内容

○鈴木副知事

ただ今から、県政150周年記念事業実施本部会議を始めます。

議題の一つ目、県政150周年記念事業ロゴマークの決定等について、二つ目、県政150周年記念・官民ネットワークの募集開始について、一括して、文化スポーツ局長。

○文化スポーツ局長

当本部会議は、来年迎える県政150周年に向けて、今年1月に設置したものであり、本日2回目の会議となります。

資料の4頁目、「資料1」をご覧ください。

県政150周年記念事業ロゴマークの決定について、ですが県政150周年の基本理念をテーマに、記念事業をPRするロゴマークを制作いたします。

制作は、「ふくしまクリエイターズバンク」に登録されている本県ゆかりのクリエイターの方々に制作協力いただき、最終的に福島市の井上淳さんご提案のロゴマークを選定したいと考えております。

皆さま、会場設置のモニターをご覧ください。

こちらが県政150周年記念事業ロゴマークとなりますが、制作者の意図としては、海・山・湖など、自然とともに四季がめぐるふくしまの風景をモチーフに、150年の歩みと多彩な風土を形にし、過去と未来をつなぐシンボルとして図案化しました。土地の記憶を胸に、新しい時代へと踏み出す想いが込められています。

ロゴマークは、来年1月からの県政150周年記念事業及び各種PR広報資材に活用し、県政150周年に向けて機運醸成を図ってまいります。

ロゴマークの発表に併せまして、特設ウェブサイトの開設及び記念誌制作の進捗状況について、ご報告いたします。

最初に、ウェブサイトの開設について「資料2」によりご説明いたします。

皆さま恐れ入りますが、再度、会場設置のモニターをご覧ください。

県政150周年記念事業特設ウェブサイトを来週10月15日に公開いたします。

ウェブサイトのトップページは、これまでのふくしまの150年のあゆみをイメージできるよう、歴史や文化、本県ゆかりの人物など、主なエピソードをモチーフとしたデザインとしております。

サイトの主な構成としては、記念事業の情報、県政150年のあゆみの紹介、ロゴマーク、記念誌やコンセプトムービーなど、各種情報を発信してまいります。

次に、記念誌の制作について「資料3」をご覧ください。

本県 150 年の歩みを記録し後世に伝えるための記念誌を、こども版記念誌と併せ、現在、制作しております。

記念誌の監修者として、福島大学の吉村仁作名誉教授をお迎えし、県政 150 年の主な出来事や、商工業や農林水産業、文化スポーツ等の分野別の 150 年の歩み、本県の名所等の今と昔の様子、本県ゆかりの人物の紹介などを取りまとめ、県政 150 周年の節目となる来年 8 月に関係機関へ配布できるよう、作業を進めてまいります。

最後に、「資料 4」をご覧ください。

県政 150 周年を広く発信していくため、記念事業の基本理念に共感し、協力いただける市町村、民間企業及び民間団体等を「福島県政 150 周年記念・官民ネットワーク」として登録いただき、官民一体となって事業展開を図ってまいりたいと考えております。

記念事業に賛同いただける皆様の登録については、来週 10 月 15 日より、特設ウェブサイトの登録申請専用フォームにより、募集してまいります。

説明は以上です。

○鈴木副知事

今の説明について、何かありますか。

なければ、原案のとおり決定することといたします。

最後に、知事からお願いいたします。

○内堀知事

福島県は、来年、令和 8 年に県政 150 周年を迎えます。

本日の本部会議で、県政 150 周年記念事業のシンボルとなるロゴマーク、また、来週 10 月 15 日からの官民ネットワーク募集開始について、決定しました。

このロゴマークには、郷土に対する「誇り」と新たにふくしまを創造する「挑戦」をイメージした、過去と未来をつなぐシンボルとして、福島の豊かな自然や多彩な風土のデザイン、そして、福島県民の柔らかさが明るく優しい色合いで表現されています。

先人たちが、育んできた「挑戦」と「誇り」を継承し、さらにシンカさせながら、市町村や民間企業等と連携をし、福島県民の心に「ふくしまプライド。」を醸成し、将来の世代へ繋いでいくため、来年 1 年を通して、官民連携の取組を県内全域で広げて、「オールふくしま」で記念事業を展開していきたいと考えています。

各部局においては、各種記念事業の実施とともに、各分野における官民連携の取組の拡大に向けて、しっかり取り組んでください。

○鈴木副知事

以上で、会議を終了します。